



6/1

提供したまゆの花の作品が 文部科学大臣賞を受賞 東京都美術館ギャラリーC

▶授賞式には、シルクフラワーの地域
おこし協力隊の細井隊員も同席



公益財団法人 日本手工芸作家連合会が主催している「第52回 創作手工芸展」で、「朝日村まゆの花の会」が作ったまゆの花（ハマナス）を使って、フラワーアーティストの藪本一翠^{やぶもといつすい}氏が作成した作品が最高位の文部科学大臣賞を受賞しました。

審査員長で日本画家の大矢紀^{のり}氏の講評では「平面まゆの光沢や薄さが程よく、まるで溶けそうな雰囲気の白色に魅了される」とまゆの花を高く評価していただきました。

5/25
~27

北限の茶処村上で茶摘体験 三面川中州公園内 茶畑



▶茶葉を袋いっぱいになるまで摘み取り
ました



この茶摘体験は、観光協会が村上のお茶に親しんでもらうために毎年開催しています。

取材した26日は気温が約30度まで上がるとても暑い日となりましたが、参加した人は茶葉がいっぱいになるまで摘み取っていました。

その後、冷たいお茶や入れたてのお茶を楽しみながら、おいしいお茶の入れ方などについて、市内のお茶屋さんのお話を興味深く聞いていました。

6/7

元プロ野球選手の加藤健さん来園 金屋保育園

▶野球の基本動作を熱血指導



アルビレックスベースボールクラブの球団社長補佐であり、元プロ野球選手の加藤健さん（新発田農業高校出身）が、金屋保育園を訪れました。

約1時間の体験教室では、「ボールを投げる・捕る・打つ」という野球の基本動作を楽しく教えていただき、子どもたちは、「カトケンコーチ」と親しみを込めて呼び、元気いっぱい体を動かしました。

加藤さんは、「野球はもちろんですが、小さい頃は色んなスポーツを楽しんでください」と、子どもたちに向かい話していました。秋には、あらかわ保育園にも訪問する予定です。

6/4

私たちの海をきれいに 岩崎・碓石



▶小中学生や地域の方、地元企業も参加



さんぽく小学校・山北中学校の生徒たちと地域の皆さんが、自分たちの住む地域の海をきれいにしようと、岩崎海岸と碓石海岸でクリーン作戦を行いました。



▲山北オリジナル軍手

夏を思わせる日差しの中、生徒たちは、山北地区まちづくり協議会が用意した、山北オリジナル軍手とゴミ袋を持って、砂浜や堤防沿いに落ちているごみを一生懸命拾い集めていました。

6/8

おとな時間を楽しむ会

つどい場「あら、ほっ」

あらかわ地区まちづくり協議会事業部会メンバーの発案で、2回目となる「おとな時間を楽しむ会」を開催しました。初回開催に引き続き、村上地区で酒屋を営む加藤盛さんから、さまざまなビールやワインなどの説明をいただいた後に、乾杯して早速ほろ酔い気分になりました。

今回の目玉企画として、新発田で活躍するエレキバンド「新発田ベンチャーズ」をお招きし、迫力あるライブを聞きながら、気分は最高潮に達しました。

初夏のすごしやすい気候の中、参加した約40人は、思い思いにビールと音楽を楽しみながら交流を深めていました。



◀ビールと音楽を肴に初夏を満喫

▶笑顔で水鉄砲を打ち合いました



6/9

水鉄砲で大満足

朝日多目的グラウンドほか

スポーツクラブ愛ランドあさひの主催で毎年開催されている「あさひスポーツフェスタ」。

さまざまなアトラクションの中でも人気があるのが水鉄砲で、この日は汗ばむほどの陽気となり、子どもたちには大喜びのアトラクションとなりました。

愛ランドあさひの職員2人対子どもたちの打ち合いでは、お互いに追いかけては追いかけてを繰り返し、子どもたちは大満足の様子でした。

6/8・9

市役所前にお城型巨大バルーンが出現

市役所（本庁舎）駐車場ほか

村上地域まちづくり協議会が主催の「お城山フェスティバル」が開催されました。

この催しは、平成28年に当時の村上小学校6年生が提案したプランを基に、子どもたちが描いた「夢」を実現させるため、地域の方々と3年間もの準備を経て実現したものです。

フェスティバルでは、お城型巨大バルーンのほか、お城山ハイキングや城下町探検ウォーク、臥牛山の特製ちゃんこの振る舞いなどが行われ、家族連れなどでにぎわいました。



◀お城型巨大バルーンの中に入っ、子どもたちが笑顔で遊んでいました

▶ダンスを披露する平林小学校5・6年生の皆さん



6/15

いつまでもお元気で～神林地区敬老会～

神林総合体育館

神林総合体育館を会場に神林地区敬老会が開催されました。

75歳以上の対象者のうち、495の方が出席。

出席者は、保育園や小学校、演芸団体の歌や踊りを見ながら、久しぶりに会う友人たちとの楽しいひと時を過ごしていました。